



ようやく秋らしい晴天が続くようになり、外に出て遊ぶと涼しい風が気持ちよく感じられます。ひよこ組の子どもたちは、砂遊びをしたり、シーソーに乗ったり、すべり台ですべって遊ぶようになりました。段差を超えて、プールまわりをトコトコと歩いたり、花壇の中に入ったりして好奇心いっぱいです。



すべり台横のカウンターで、砂を手でかき混ぜたり、スプーンですくったりして遊んでいます。

子どもたちにとって砂との新たな出会いは、身近な自然の友としてこれからずっと仲良く、関わりを深めていくのが楽しみでもあります。



☆お昼寝タイムです z z z z

走って、登り降りして、車を動かして エネルギー全開で遊んだ子どもたちは、食事でおなかいっぱいになると、もう眠くてたまりません。ベッドの用意ができると「おやすみなさい」の挨拶もそこそこに布団のバスタオルの温もりの中ですやすや眠ってしまいます。愛らしい寝顔に、保育士はとろとろに癒やされます。



☆お母さん！応援しています！ ある日の連絡帳より

(育児に家事にお仕事と頑張っているお家の方の連絡帳には、お子さんへの愛が溢れています。ちょっとご紹介してみました。)

そうちゃんのお母さんより

“そうちゃんが1人で遊んでいると思って家事をしていたら、しばらく静かで、ふと見ると床のマットの上に茶色いモノが散乱していて、そうちゃんもその茶色いモノをぐちゃぐちゃ手でかきまわしていました。

「えっ？」と思って近づいて見ると、そのモノはうんちで、オムツからはみ出たうんちを床マットにまき散らして遊んでいました。そこから、そうちゃんを洗い、床マットも洗い、大変でした。。。でも、おもしろかったです。”

☆絵本っておもしろいね

保育士が絵本の読み聞かせを始めると子どもたちはページに関心を持ち、ページを開閉するばかりで、なかなか読めませんでしたが、この頃はじっと見つめたり、指差したり、「あー！」「まんま」と言って発見や思いを伝えてきます。ひよこ組の人気絵本は「おべんとうバス」「こんにちは」「おつきさま こんばんは」「だるまさんが」です。

絵本コーナーにありますので、よければ貸し出しをご利用ください。

☆お誘い

10月は保育参観やふたば体育まつりを予定しています。子どもたちの成長を見ていただきたいと思います。ご都合もあるかと思いますが、ご参加くださると、嬉しく思います。

(福岡 有蘭 尾崎)



すみれぐみだより

第7号

2019. 10. 10(木)

「一人で登れるよ」

園庭の滑り台は、子どもたちの人気者です。滑り台をすべるには、とっかかりに足をかけ、手で、しっかり握って上に登らなければなりません。とっかかりに足をかけられない子どもは、保育士が、身体を支え上まで登り、滑っています。ある日、園庭に行くと、Tくんと、Kちゃん、Sちゃんが、滑り台の上に登っていました。今まで、保育士に身体を支えてもらい、登っていたTくんとSちゃんでしたが、その日はしっかりとした手足で、とっかかりを握り足を踏みしめて登っていました。一人で、上まで登りきると、「出来た!!」と、嬉しそうな言葉と、笑顔に私も「一人で、登れたね、すごいね」と、その成長を一緒に喜びました。



「どっちが大きい？ 小さい？」

園庭の畑で、ゴーヤが取れました。大きい物と小さい物が、一つずつあったので、子ども達に、「どっちが大きい？」と聞くと「こっち」と、大きい物を指さして応えていました。逆に、「どっちが小さい？」と、聞くと「これ」と、小さい方を指さしていました。

物の大、小や、色の違いなどにも、気づきはじめています。



「せんせい、これ、かりんとう」

園庭の砂場で遊んでいる時に
恭菜ちゃんが砂場の玩具の中から
ゴマすり棒を2本持ってきて、私に
「せんせい、これ、かりんとうよ」「おいしいよ」と、目を輝かせて言ってきました。ごますり棒を、かりんとうに見立てる、発想の豊かさに面白いなと思ったのと、この感性を大切にしていこうと思いました。



子どもたちの大好きな絵本 「みんなでんしゃ」



「もりのひろば駅」には、色々な電車が到着します。その電車は、動物の親子だったり、きつねが変身したりしているというお話です。

絵本の中で「くまさん、電車ごっこはやめてください」と、言う部分を読むと子ども達は「はい」と動物になりきって手を挙げて返事をします。次々に動物が電車になって到着するのですが、到着する順番まで覚えていて、子ども達の記憶力のすごさに、驚ろかされています。



「ゆあちゃん、お元気で」

ひよこ組の時から一緒に過ごしてきた
藤川結愛ちゃんが10月いっぱいまで引っ越しの為、退園することになりました。

給食を自分で食べたり、オムツ交換後、自分でズボンを履いたりと何にでも意欲的な結愛ちゃん。寂しくなりますが新しい保育園に行っても元気で過ごしてね。



1歳児担任…今丸・崎野

ちゅうりっぷ組だより

2019.10.10(木)

さわやかな風が吹き、過ごしやすい季節になってきました。子どもたちは園庭で落ち葉を拾ってちぎったり、くめぎの実が茶色く色づいているのに気がついたり、秋探しを楽しんでいます。日中と朝夕の気温差がある季節でもあるので、健康面には十分に気をつけていきたいです。



～なでしこの日～

なでしこの日は子ども一人一人の興味を持っている事や好きな遊びが出来るように保育士と子どもの2人で散歩に出かけます。ちゅうりっぷ組は友だちと一緒に遊ぶことを楽しんでいるので友だちと保育士と3人で散歩に行っています。友だちと手を繋ぎ、目的地に着くと友だちと一緒に鉄棒にぶら下がったり、拾ったどんぐりを見せ合ったり、おやつを食べ「おいしいね」などお話ししたり、友だちと一緒に遊べることへの喜びが伝わってきます。



* 絵本の紹介 *

「さつまいも」

土の中でくらしているお芋さん。ごはんも食べるし、歯もみがきます。トイレにも行くし、お風呂にも入ります。トレーニングで体をきたえて、さあ、子どもたちと綱引きです。「うんしょ とこしょ うんしょ とこしょ…」スッポン!と綱引き勝負はお芋たちの負け。たくさんとれたサツマイモで、みんなで楽しい焼きイモ大会。子どもたちほくほくおいしいサツマイモをいっぱい食べるとおならが出てしまい、くさい煙でいっぱい。最後はお芋の勝ちでござす。

先日おやつにさつまいものスナックが出ました。みんなでおいしく食べているとこの絵本を思い出した優菜ちゃんが「おなら出るかな」と心配していました。すると、「引っ張り合いしてないけ大丈夫よ」と蒼大くん。2人のやり取りを聞きみんな楽しい笑顔になりました。



～お知らせ～

気温に応じて衣服の調節をしたいと思います。ロッカーの中に半袖と薄手の長袖の用意をお願いします。記名がなかったり、洗濯で薄くなったりしている衣服があります。もう一度確認していただけると助かります。



発行：令和元年10月10日（木）

爽やかな秋風にのってくる、キンモクセイの甘い香りと高く澄んだ空、色づいてくる木々に、秋の深まりを感じます。これから、金比羅登山や皿倉登山、マラソン大会など、こすもすぐみにとって初めての行事がたくさんやってきます。初めての登山は、決して楽な道のりではないと思います。しかし、登山を経験してやりとげたことは、強い育ちへと繋がり、かけがえのないものになるのではないかと思います。行事などを通し、子ども同士で励まし合ったり助け合ったり、自分の力で最後までやり遂げた子どもたちは、どんな成長した姿を見せてくれるのでしょうか。



みんなで力を合わせて、頑張ろう！！

台風18号の影響もあり天気が心配されていましたが、登山への期待を膨らませた子どもたちのパワーも空に届いたようで、当日は、澄み切った青空が広がりました。10月に入り、カレンダーを見るたび、「今日、お山に登る？」「あと何回寝たら、お山登りの日？」と登山の日を心待ちにしていたこすもすぐみの子どもたち。金比羅山までの道のりでは、「どんぐり落ちてるかなあ？」「たくさん、虫もおるかもよ！」と友だちとお話をしたり景色を楽しみながら歩いていましたが、階段を登り始めると徐々に「あとどれくらい？」「階段大変だねえ…」と少しずつ表情に疲れが見えてきました。しかし、「もうちょっとだよ！」「頑張れー！！」と子ども同士励まし合いながら無事に頂上まで自分の力で歩ききることができました。頂上に着き金比羅神社の神様に“皿倉山もケガをしなくて、みんなで元気に登れますように”とお願いをすると、「パワーもらえた！」「これで皿倉山も登れそう！」とさっきまでの疲れた表情もパァーっと明るくなった子どもたち。景色を見るとさらに疲れも飛んでいったようで「うわー。お家がたくさん！」「海が見えたよー！！」と楽しそうな表情でお友だちと話していました。

帰り道では、少し疲れが出てきて、歩くペースも行きに比べるとゆっくりではありましたが、友だちと「あとちょっとで保育園に着くね。」「もう少しだから頑張ろう！」と声をかけ合ったり、好きなうたを歌いながら、一步一步しっかりとした足どりで歩いていました。さすがに疲れただろうなあ…という保育士の心配をよそに、保育園に着くと「早く皿倉山に登りたい！」「頑張って登る！」と皿倉登山に向けて意欲的な子どもたちでした。金比羅登山を経験した子どもたちは、お互いに助け合う優しい心や自分の力でやり遂げる強い心の育ちが見られ、頼もしさを感じました。

乾布摩擦・マラソンが始まります！

強い身体と心をつくるために、昼食前の時間に乾布摩擦とマラソンを予定しています。これから体調を崩しやすい時期になりますので、体調の悪い日は連絡帳や登園時にお知らせくださいますようお願いいたします。乾布摩擦用のタオルの準備と名前の記入もよろしくお願ひします。



お願い

涼しい季節になりました。朝夕は肌寒く感じることもあります。子どもたちが衣服の調節ができるよう、ロッカーの衣服の配慮をよろしくお願ひ致します。

3歳児担任：木山・田中



ひまわりだより

令和1年10月10日(木)

「空が青いね!」と、この頃みんなで秋空を見上げています。すると♪空に落書き描きたいな〜♪と歌い始める子ども達です。『天高く馬肥ゆる秋』という言葉の通り、空気が澄みきっていて収穫の多い秋真っ盛りです。

金比羅登山や体育遊びの後、「先生、お腹が空いた。」と育ち盛りのひまわりっ子達のつぶやきが聞こえるようになりました。

金比羅山に登りました

いよいよ秋の体育祭りが始まりました。園長先生のお話を聞いて、「元気いちばんばん」体操をして、いざ出発!

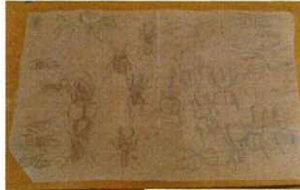
天気が良く子どもの足取りも軽やかです。金比羅宮までの階段もスイスイ登りました。1年でこんなに成長するんだ...と感心している保育士2人はハァーハァーと子ども達と登るのが精一杯でした。手洗いを済ませ、二礼二拍手一礼をして体育祭りの健康と安全をお祈りしてきました。最後まで無事に過ごせますように...



部屋の窓からソメイヨシノの桜の紅葉が見えるよ

広い窓の外の青々としていた桜の葉っぱが所々黄色に変身しハラハラと散って、下一面が黄色の葉っぱのジュウタンになっています。

早速、みんなで拾い畑に掘った穴に集めた葉っぱを入れ「腐葉土」にする事にしました。ここで、この穴の上に新聞紙を広げて置き、土や葉っぱをかぶせて...『落とし穴』を作りました。目をつぶって歩いた子ども達、見事にズボッ!と穴に落ちこち大笑い。後日、桑原先生も見事に落ちこちました。



ひろむくん

かぶと虫の赤ちゃんが生まれたよ

クラスで飼育していかにかぶと虫に小さくて真っ白の幼虫が15匹生まれていました。一人一人手の上に乗せて触ると、「柔らかい」「フワフワしてる」「かわいいね」の声が聞こえました。今まで虫を怖がって触れそうになかったあおばちゃんが今では手の上に幼虫を乗せていました。幼虫15匹は夏椿の木の下でスヤスヤと来年の夏まで眠ります。「夏になったら出てきてね。」と話しかけ、時々、落ち葉を拾ってかぶせている子ども達です。

木登り楽しいよ

園庭のがっしりと丈夫そうな木のみに、ロープを垂らし木登りを始めました。興味津々の子ども達は木に足を掛けたり、裸足で登ろうとしたりと色々工夫していますがなかなか手ごわいようです。「木登り楽しい。またしたい。」と子ども達は、木登りを楽しみにしています。頑張った後は、ロープでブランコを作り、それに乗って遊んだり、綱引きをして遊びました。負けても勝っても「アハハハ」と笑い声でいっぱいでした。

フラフープ練習中

新しいフラフープを買って頂きました。早速、クルクル回すと、少しずつうまく回るようになっていきます。

子どものつぶやき

- ・「先生まだ木登りしたい!」と言うそう君。「う〜」とロープにぶら下がって頑張っているそう君に「そう君、頑張ってる!」とひかり君が下から声援を送っていました。
- ・ランチルームで給食のみそ汁を食べて、「先生、椎茸食べれるようになったよ。」と保育士に伝えるここねちゃん。「すごいね。」「うん。椎茸大〜好き。」と近くにいた給食の清本先生にも嬉しそうに伝えていました。

ひまわり担任・・桑原、中西



2019年10月10日(木) 発行

秋風に乗ってキンモクセイが甘く香り、高く澄んだ空、色づいていく木々に、秋の深まりを感じる頃となりました。子どもたちも、「いい匂いがするね」や「涼しくて気持ちいいね」と全身で秋を感じ、園庭の桜の木の葉の色が変わっていることに気づいたり、虫の声に耳を傾けたりと、深まりゆく秋の自然の中でたくましく育っています。

みんなで頑張りましょうね！

4日の金比羅登山では、朝から気合い十分な子どもたち。行きはこすもす組の後から歩いたのですが、少しペースが遅くなる友達がいると「あと少しだよ」や「前の人と間があいてるよ。頑張って！」と励ましの声をかけていました。登山口から頂上へ向かう階段では、友達と話をしたり周りの自然物を見たりしながら、次々と足を進めていき、保育士を抜かしていくほどのスピードと体力に、驚きました。

「みんなが怪我をすることなく、血倉山やマラソン大会をすることができますように…」と神社でお祈りし、頂上からの景色を見ていたときのことです。「もう、これで最後かぁ…」とつぶやく声が聞こえてきました。りさちゃんが、一つずつ行事が終わっていくことにふと気づいたようです。しかしすぐに元気な声で「最後だから、みんなで頑張りましょうね！」と言い、それを聞いていた周りの友達も「次は血倉登山、頂上まで行くんだよね」と期待を膨らませていました。

登山、体育まつり、マラソン大会と経験していく中で、我慢すること、やり遂げることの喜びを感じながら成長していく子どもたちが楽しみです。



台風の影響で畑の看板が壊れていたことに気づきました。自然事象の良さだけでなく恐ろしさも感じ、看板をどうするかをみんなで考えました。「前のたんぽぽさんが一生懸命つくったから、直したい」という声が多く、作り直すには何が必要か考えて準備を進め、一週間かけて製作に取りかかりました。木材をノコギリで切る、色を塗るなど分担しながら製作する中で、ノコギリや金づちの使用法、危険性を知らせると共に、友達と協働しながら作る楽しさを味わったようです。

あまり日常で使うことのない大工用具に興味を持っているので、それぞれイメージしているものを、少しずつ表現することができるようになればと楽しみにしています。

★お知らせ★

乾布摩擦、マラソンが始まりますので、タオルの準備をお願いします。

体調が悪い日は、連絡帳または登園時に保育士にお知らせください。

5歳児担任：井上・本崎